

赤潮・貧酸素情報（11）

平成26年7月24日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

7月24日の調査の結果、柄杓田漁港内に有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が認められました。

< 赤潮の状況 >

○ 柄杓田漁港内でカレニア・ミキモトイの増殖（表層で海水1ml中に3700細胞）が認められました。

○ カレニア・ミキモトイは、数千～1万細胞で魚介類に被害を及ぼします。

○ 本種は、増殖初期は中層（主に5m層前後）で増殖する性質を持っていますので、通常、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。

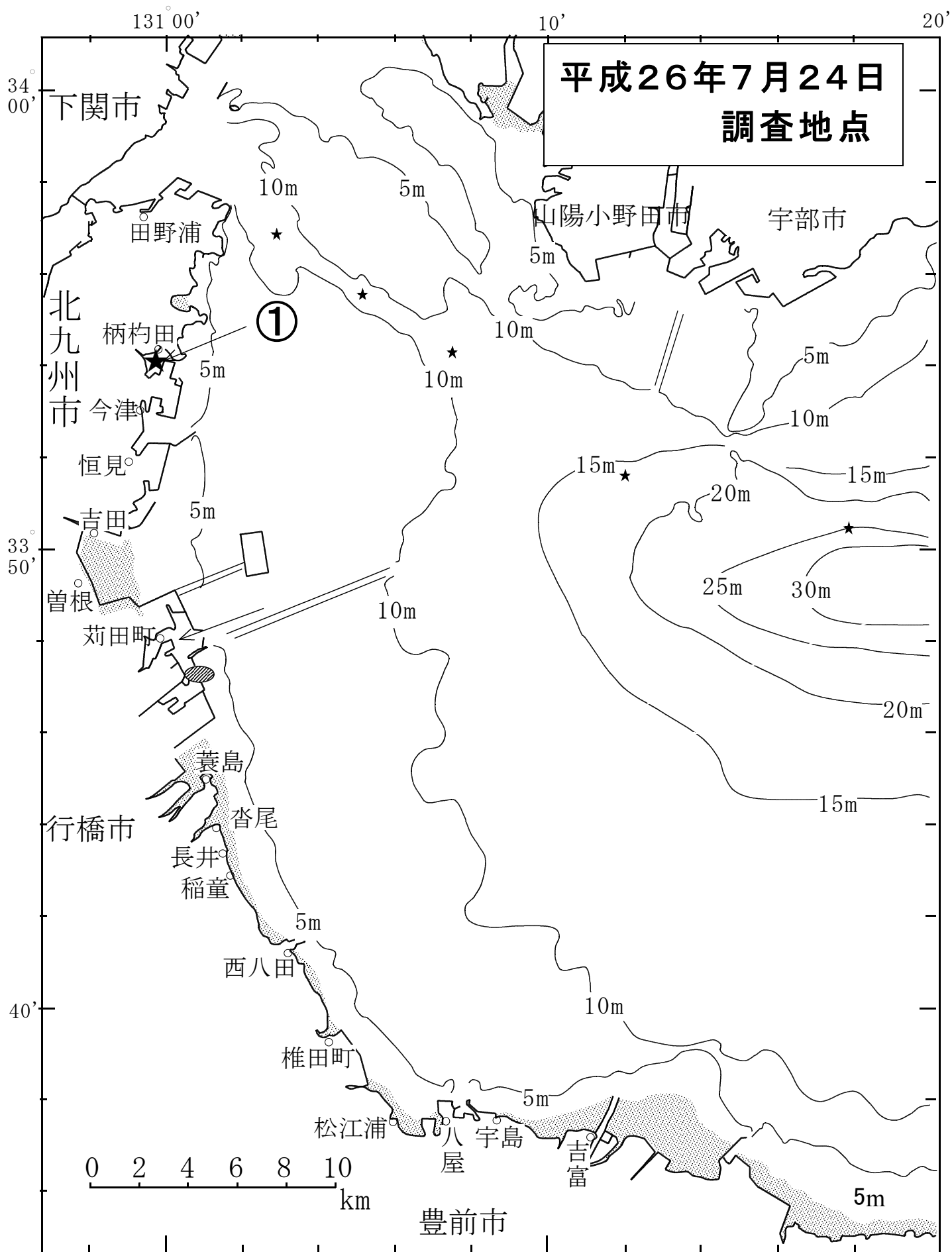
○ 7/22の調査においても、人工島付近、宇島沖で同プランクトンの増殖が認められておりますので、出荷する際には早めの出荷をお願いします。

< 今後の状況 >

○ 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。

○ 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※ 今後、漁業被害、海面着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、大形）までご連絡下さい。



調査点図